

令和2年 1月 住まいのお手入れ

(1) たまる紙袋・箱の整理法

使い道 描けなければ処分 3サイズに分類 3~5枚を保存

*紙は劣化します。ぎゅうぎゅうに詰め込んだ状態で、暗くて湿気が多い場所やホコリをかぶる場所に置いておくと、カビが生えることも。

*紙類を好むシミ（紙魚）という虫が発生することも。

*衛生面からも、紙類はため込まずに処分した方が良いでしょう。

*取っておく紙袋は自分の中で「大、中、小」の3サイズに分類。

*取っておく枚数の目安としては、各サイズ3枚か5枚でぐらいで十分。

*紙箱は汚れと湿気を運びやすく、不衛生。

紙袋・箱の整理のポイント

取っておく	捨てる
使い道がイメージできる	汚れている、色あせているもの
好きなデザイン、ブランドのもの	すぐに入手できるもの

保管のポイント	見直すことも重要
丈夫な紙袋やボックスなどにまとめる	多すぎたら数を減らす
湿気やホコリを避け、取り出しやすい場所に置く	新しい紙袋と入れ替え、一定数を保つ

(2019年12月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) トイレ掃除 レジ袋・靴下で手を「道具」に

*掃除をしてもニオイが気になるのなら、温水洗浄便座と便器の隙間など普段掃除ができていない場所が汚れている可能性。

*レジ袋数枚とはき古した靴下を用意。手にレジ袋をかぶせてその上から靴下を装着し、手を「掃除道具」に。

*活用したいのは「酸」。掃除用の粒状のクエン酸。

・ただし、樹脂材は酸に弱いので、トイレの素材を確かめます。

*アルコール（消毒用エタノール）スプレーや古歯ブラシもあれば便利。

（2019年12月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



住まいのお手入れ - 床 その3

症状 - フローリングに隙間ができた

☆診断の準備

*フローリングには、天然木の無垢材を使用したもの（無垢フローリングと、積層材や合板に木目の化粧板やシートを接着したもの（複合フローリング））があります。

☆対処方法

●フローリング材そのものの収縮、反りの場合

*無垢フローリングの場合、収縮、反りはつきものです。

・収縮による隙間は、湿度の高い時期には元に戻る可能性があります。

・反りによる隙間の場合は、元に戻すのは困難です。

*複合フローリングの場合でも、床暖房や電気カーペットにより、直接熱を受けるような部分では隙間ができることがあります。

●床組みの変化が原因の場合

*フローリングに問題がなくても、床組みあるいは建物自体に変化が起きると、フローリングに隙間が生じてきます。

*工務店に相談しましょう。

（参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」）

